

リーディングDXスクール事業【実践事例】

習志野市立香澄小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 オンラインによる国際交流

【取組① Teamsを活用した他国（マレーシア）との交流】

- ・ 教師用タブレット端末を活用し、Teamsによる他国とオンライン授業を行った。
- ・ 国際交流における児童の学びや気付きなどについて、コーディネーター的な人材（英会話講師）と、事前に質問内容や披露する演技（各国の文化的なもの）について、話合った。
- ・ 多数の児童の様子を映すために、特別教室にてスクリーンとプロジェクターを活用して、交流を図った。



教師用タブレット端末による他国とのオンライン交流

他国の児童に挨拶をする本校の児童
※スクリーン画面は、他国の児童の様子

リーディングDXスクール事業【実践事例】

習志野市立香澄小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 オンラインによる国際交流

【取組② 地域人材や外部専門家の参画】

- ・ オンライン交流の進行などは、コーディネーター的な人材（英会話講師）が務めた。
- ・ 国際交流でも学びを深めるために、互いの国の文化のよさや違いについて披露した。
- ・ 日本の文化の一つとして、地域の人材（落語家）を招いた。



落語を披露する地域人材（落語家）



ソーラン節を披露する本校の児童

【学校全体における成果】

- Teamsによるオンラインにより、映像や音声不乱れことなく、円滑に他国との交流を図ることができた。
- お互いの国の文化や挨拶、学校のシステムの違いなど、児童にとって初めて知ることが多く、大変効果的であった。
- 地域人材（英会話講師・落語家）により、我が国や他国の文化に親しみをもつことができた。